

信教の自由を守る 2・11 札幌集会

「とよひら食堂と

隣人との分かち合い」

メッセージ+給食ワークショップ

「分かち合い」は戦争の対極にあります。札幌・豊平地区はキリスト教の伝道と並行して、さまざまな救貧活動が試みられた場所です。しかし、それらは戦争でついでてしまいます。日本キリスト教会豊平教会の給食活動は、戦争政策に取り込まれてしまった教会についての独自の戦争責任告白を原点にしています。現代世界には自分たちの利害を最優先する「〇〇ファースト」という言葉がまん延しています。このような風潮は、貧しい人々への支援を攻撃したり、隣国への敵意と排外主義をあい、最後は戦争へと駆り立てます。「とよひら食堂」は、すべての人と恵みを分かち合うキリストに連なることを志しています。しかも、働きの多くは教会員以外のボランティアに担われており、宗教的理想や信仰を押し付けることはありません。本集会では初の給食活動を予定しています。とよひら食堂の分かち合いの輪にあなたも加わってください。



毎週金曜日のお弁当手渡し＝豊平教会

講師

いのう よしひろ

稲生 義裕さん

日本キリスト教会札幌豊平教会牧師

ネット配信を予定しています。詳細は「賛助のしおり」(300円)をご覧ください。

◇とき 2026年2月11日(水)午後1時30分

午前9時30分～弁当作り(正午から北光教会前で手渡し)

◇ところ 日本キリスト教団 札幌北光教会

(中央区大通西1 テレビ塔南側)

主催／札幌キリスト教連合会 信教の自由を守る委員会

(連絡先 電話080 (9579)0077 一條)